

中学校コミセン登録団体の公益活動

サークルの力を活かす、公益活動の手引き



- 01…コミセン登録団体が取組む「公益活動」とは？
- 03…登録団体の力を活かした公益活動の取組み
- 05…公益活動とは認められにくい活動について
- 07…公益活動の“始めかた”

コミセン登録団体が取組む「公益活動」とは？

中学校コミセン登録団体へ登録、活動するためには、公益的な活動を積極的に行うこと（登録団体要項第2章3 登録できる団体）が要件として規定されています。

また、公益活動の例として、登録要項では市民の生涯学習振興、コミュニティ活動及び地域貢献などの活動が、コミセン登録制度Q&Aでは、福祉の増進、社会教育の推進、まちづくりの推進、観光の振興、学術・文化・芸術やスポーツの振興、環境の保全、災害救援活動などが例示されています。

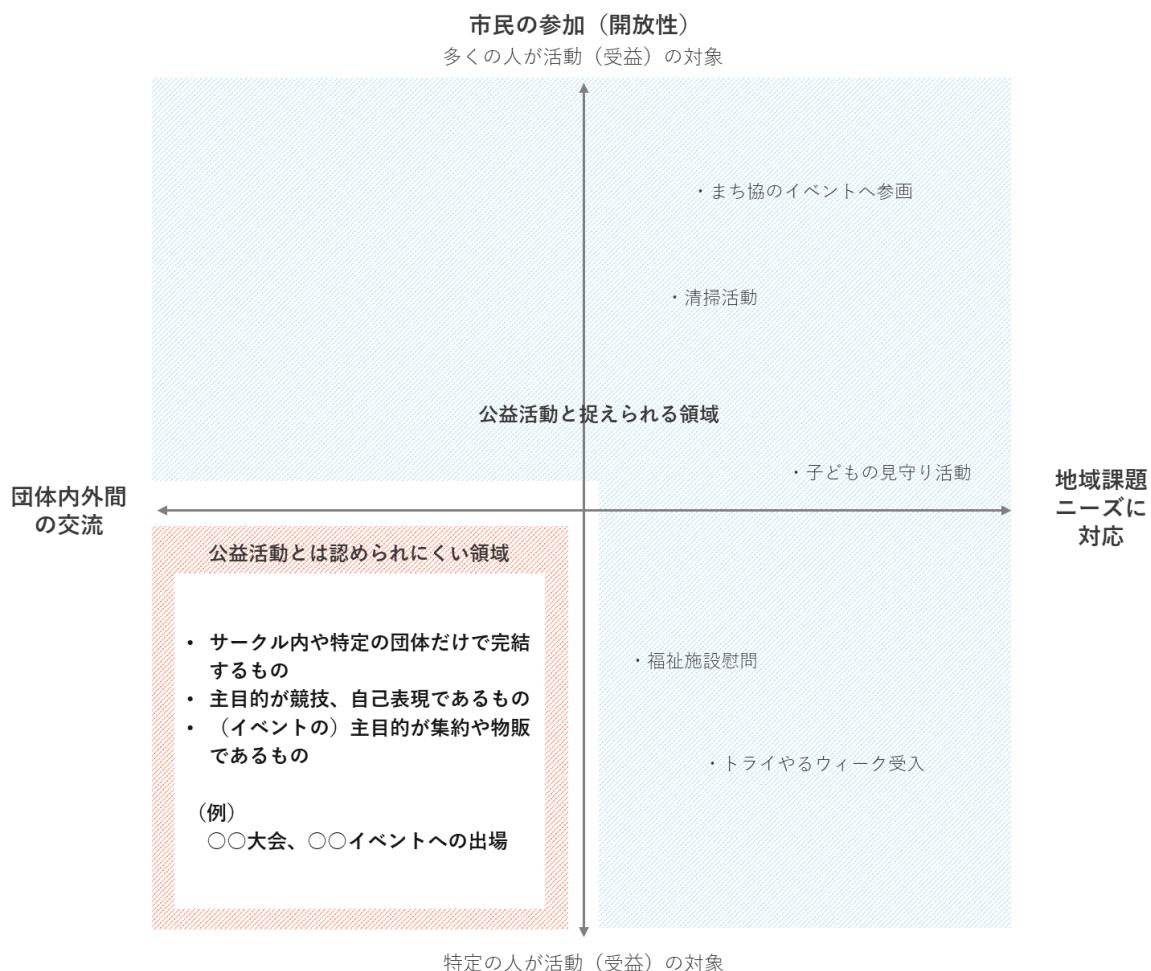
一般的に幅広く捉えられる公益活動ですが、中学校コミセン登録制度における公益活動は下記に該当する活動を言います。

中学校コミセン登録制度での公益活動とは・・・

- ① 学びの成果（知識やスキル等）を地域社会や市民に還元する活動
- ② 地域課題や地域ニーズに対応する活動（誰かの・何かのニーズに応える）



中学校コミセン登録制度での公益活動の「領域」



① 学びの成果（知識やスキル等）を地域社会や市民に還元する活動

活動で得た知識やスキル、情報などを広く共有する「学びの機会」を通じて、市民へ学びの成果を還元（教える・広める）することで、多くの人が「学び」に触れることができます。

【学びの成果を地域社会や市民に還元する活動の主な事例】

- 体験講座を開催、登録団体のメンバーが先生となって市民へ知識やスキルを学んでもらう。
- 普段の活動の成果を活かし、福祉施設への慰問活動を行う。
- 地域イベントで○○体験会を実施し、文化に触れてもらう。



コミセン主催事業での体験教室の実施

② 地域課題や地域ニーズに対応する（誰かの・何かのニーズに応える）活動

「特技・ノウハウ・関心」を地域課題やニーズに対応、結び付いた活動を行うことで、自然に公益性が生まれます。

【地域課題や地域ニーズに対応する（誰からの・何かのニーズに応える）主な事例】

- 地域団体のニーズ（活動の担い手不足・出店、出演者が少ない）に応じて活動に参加する。
- 地域住民・団体と連携した清掃活動を行う。
- 学校園の困りごとの解決寄与する活動。



“一緒にイベントを盛り上げてほしい”との
ニーズに応え地域イベントでの演奏



トライやるウィークの受け入れなど学校と連
携する、ニーズに応える活動

登録団体の力を活かした公益活動の取組み

各サークルから公益活動計画として提出された活動を含めて、いくつか事例を紹介します。活動事例を参考に、どんな活動をするかサークル内で話し合ってみましょう。

活動内容を活かして、公益活動を行う

公益活動を行う時に、普段の活動とは全く異なる、新しい活動を企画することだけが公益活動ではありません。普段の活動内容をベースに公益活動を検討・企画することもできます。自団体の活動に合わせた公益活動を考えてみましょう。

普段の活動を活かしたい

- ・施設を訪問し、歌や演奏を披露。
- ・地域の団体と相談し、イベントの中で体験コーナーを作る。
- ・子ども向けにバレーやバスケなどの体験教室を開催する。
- ・子ども向けに太鼓教室を開催する。



学びの成果を還元したい

- ・放課後こども教室で、子ども達へ将棋を教える。
- ・市民講座などの機会で講師役を務める。
- ・普段の活動についての歴史や文化を広める機会を作る。



POINT

日常での活動内容を活かして公益活動をすることで、普段の活動だけでは気づきにくいことや、新たな学び、刺激につながります。また、活動の内容や魅力を知ってもらう機会にもなり、新しい仲間づくりにつながるかもしれません。

団体としての力を活かす

公益活動と言っても、何をしたら良いかわからないという団体も多いかと思います。環境美化に取組んだり、地域団体が行うイベントの企画や準備に参画したり、団体としての力を活かして公益活動を企画しましょう。

環境美化や防犯の活動に参加する

- ・明石川河口付近の空き缶などの清掃活動を行う。
- ・海岸や公園清掃を行う。
- ・自治会やまちづくり協議会と相談し、清掃活動を行う。
- ・スクールガードに登録し、子どもの見守り活動を行う。



地域交流イベントに参加・参画する

- ・地域団体のイベントの準備や警備係を担い、運営に協力する。
- ・地域団体の運営に参画し、一緒に地域活動を行う。
- ・地域団体と相談し、ニーズをふまえた活動を企画、実施する。



POINT

まちづくり協議会や自治会、市民活動団体など、様々な団体が、環境美化や地域交流、防犯などに取組んでいます。こうした団体も活動の担い手不足に悩んでいます。一から公益活動を企画するだけでなく、公益的な活動をする団体が行う活動を手伝うことで、双方にメリットのある公益活動になります。

地域活動・情報の集め方

地域活動の情報を知るツールとして、コミセンやコミュニティ・生涯学習課、明石コミュニティ創造協会など、地域活動等を支援する拠点や部署に相談してみましょう。



地域情報が集まる
「まちナビあかし」



まちづくり紹介冊子
「まちコレ」

公益活動とは認められにくい活動について

公益活動とは認められにくい活動とは、団体内や団体同士の交流に重きを置いたものや、特定の人が活動（受益）の対象となる活動です。

具体的には、自己研鑽やスキルアップを目的とした活動、内部や特定の団体等で完結し、学びの成果が還元される仕組みにない、登録団体要項に定めるコミセン活動であるなどがあげられます。

以下に各サークルから提出された公益活動計画の中で公益活動とは認められにくい活動をあげます。



- ① 団体内や特定の団体だけが参加（または完結）するもの
- ② 主目的が競技・自己表現・集客や物販であるもの

展示会や発表会、大会出場は、日頃の学びの成果を発揮する場として重要な機会です。

しかし、団体内で完結する、主目的が競技や自己表現等の活動は、公益活動として認められません。

【公益活動とは認められない主な事例】

- 展示会
- 発表会
- ○○大会、競技会への出場
- ○○フェスなど集客や物販が主目的と言えるイベント出演

学びを + (プラス)

展示会や発表会の機会を使い、学びの成果（知識やスキル等）を市民へ還元することや、「地域と一緒に盛り上げてほしい」や「地域イベントのボランティアスタッフとして運営に協力してほしい」など、地域のニーズに合わせる・応える活動をすることで、公益的と言える活動につながります。



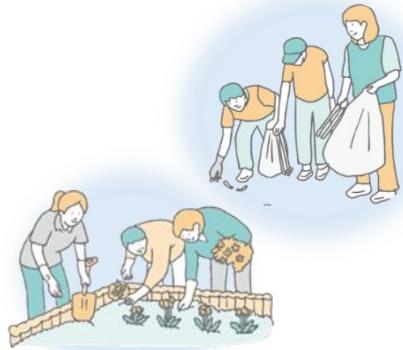
地域課題やニーズに応じたイベントに出演／参画する

③ コミセン活動への参加、協力

登録要項では、公益活動の実施とは別にコミセン活動の推進に努めることと定められています。ここでのコミセン活動とは、以下のとおりです。

【コミセン活動である主な事例】

- コミセン一斉清掃
- 運営委員会、連絡協議会の会議、事業への参加
- その他、コミセンが事務局となって行う各種事業



学びを + (プラス)

コミセン活動であっても、講座の講師等を務めることで市民への学びの還元につながっています。中学校コミセン登録制度の公益活動に該当すると考えられます。コミセンまつり等も同様に学習の成果を披露するだけでなく、知識や技術を地域や市民に還元する（学習機会を提供する）活動を盛り込むことで公益活動に該当すると考えられます。

④ 個人的な公益活動

登録団体の会員として活動されている方の中には、個人としてボランティア活動をされている方も多いと思いますが、中学校コミセン登録制度は「サークルとして」の行う公益活動を定めています。

【個人的な公益活動の主な事例】

- 献血や募金活動
- まち協、個人としての地域活動への参加



学びを + (プラス)

個人としてボランティア活動をしている、まちづくり協議会等に参画し活動している方がいれば、その方と一緒に地域活動に参加してみましょう。何かを新しく始めるよりも活動を始めやすく、また新しい仲間づくりにつながるかもしれません。

公益活動の“始めかた”

公益活動を「単なるボランティア活動」と捉えるだけではなく、工夫を加えて行うことで新たな学びや気づき、仲間づくりにつながるきっかけにもなります。

ここでは、公益活動を計画・実践をしていくための具体的なステップを紹介します。事例と合わせて参考にしていただき、登録団体にとっても、地域にとってもより良い活動を広げていきましょう。

1 身近な地域での課題（困りごと・必要とされていること）や地域活動を知る どんなことができるか、していきたいかを話し合う

登録団体内でどんなことができるか、してみたいかなどを話し合いましょう。活動している中学校区コミセンのエリア内などの課題や活動などの情報を知ることで、活動のアイデアや方向性のヒントを見つけることができます。話し合いを行う際は、メンバー全員で思いつくことを出し合いましょう。

2 活動のアイデアを発展させる

どんなことができるか、してみたいことなどがはっきりしてきたら、地域の情報やニーズをふまえ、具体的な活動のアイデアを考えます。

話し合いの中で、具体的な活動のアイデアが出ない場合や、話し合っても何もアイデアが浮かばないといった場合はコミセンにも相談してみましょう。

3 具体的な活動内容を計画する

活動内容や日時、場所、協働（一緒にすること）先がある場合は必要な連絡調整などを整理し、内部で共有します。

4 活動してみる・活動をふりかえる

計画が整えば、みんなで実際に活動します。登録団体以外の参加者や協働相手がいる場合は、せっかくの機会ですので楽しくコミュニケーションをとりましょう。活動後は、ふりかえりの時間を作ることで、今後の活動に活かせるヒントが発見できるかもしれません。